
Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア

ソフトウェアインストールガイド



本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

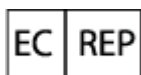
In Vitro 診断用です。製品は一部の国では入手できません。詳細な情報については、最寄りの営業担当者にお問い合わせいただくか、または sciex.com/diagnostics を参照してください。

Rx only.

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

© 2022 年 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



Leica Microsystems CMS GmbH
Ernst-Leitz-Strasse 17-37
35578 Wetzlar
Germany



AB Sciex Pte. Ltd.
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256

IVD

CE

UK
CA

目次

第 1 章：はじめに.....	5
インストールの前に知っておくべき重要な情報.....	5
第 2 章：要件.....	7
オペレーティングシステム要件.....	7
ネットワーク環境.....	7
測定用コンピュータのハードウェア要件.....	7
処理用ワークステーションのハードウェア要件.....	8
SCIEX 測定用ワークステーションの現在の構成.....	8
対応しているカードとドライバのバージョン.....	9
Reporter 3.2 の要件.....	10
PDF レポート機能.....	10
Windows 10 のユーザーアカウント制御の要件.....	10
必須ソフトウェア.....	10
互換ソフトウェア.....	11
対応している質量分析装置.....	11
DVD の主なコンテンツ(利用可能な場合).....	11
Web ダウンロードパッケージのコンテンツ(AN).....	12
第 3 章：インストール方法.....	14
測定用ワークステーションと処理用ワークステーションの設置方法ガイドの使い方.....	15
インストール時のタスクリスト.....	16
インストールに向けて準備する.....	17
ソフトウェア DVD を用意する.....	17
質量分析装置とワークステーションをインストールに向けて準備する.....	17
Analyst Data フォルダを安全な場所にバックアップする.....	18
Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのインストール.....	19
ソフトウェアを DVD からインストールする(利用可能な場合).....	19
Web ダウンロードパッケージからソフトウェアをインストールする.....	20
展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする.....	21
ファームウェアと構成テーブルを更新する.....	23
GPIB ドライバのインストール.....	24
Install the National Instrument ADC ドライバのインストール.....	24
Edgeport 6.04 ドライバのインストール.....	25
(オプション)スクリプトのインストール.....	26
(オプション)sMRM Calculator スクリプトの削除.....	26
電子ライセンス.....	26
Analyst MD ソフトウェアのノードロックライセンスをアクティベートする.....	26
ライセンス認証後、初めてソフトウェアを起動する.....	28
付録 A：トラブルシューティング.....	29

目次

付録 B : ファームウェアと構成テーブルファイル	30
付録 C : 周辺装置とファームウェア	31
付録 D : Windows オペレーティングシステム設定	39
Windows の更新	39
ユーザーアカウント制御の設定	39
ユーザーアカウント制御の設定	39
地域と言語設定	40
地域の設定	40
言語の設定	41
付録 E : Analyst MD ソフトウェアドキュメント	43
お問い合わせ先	45
お客様のトレーニング	45
オンライン学習センター	45
SCIEX サポート	45
サイバーセキュリティ	45
ドキュメント	45

本ガイドでは、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのインストールに関する情報と手順について説明します。本ガイドには対応している装置 / ファームウェアについての情報に加え、インストールのトラブルシューティングに関するヒントも記載しています。

ソフトウェアの新機能、機能強化、既知の問題については、ソフトウェアパッケージに付属のリリースノートを参照してください。

インストールの前に知っておくべき重要な情報

注: Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアは、Windows 10 オペレーティングシステムでのみサポートされています。

注: ソフトウェアのインストールまたはアップグレードは、必ず本ガイドに記載のインストール手順で行ってください。

ソフトウェアのインストールを適切に完了できるよう、本ガイドの手順を実施する際には必ず以下の点に注意してください。

注意: データ損失の可能性。 Analyst MD ソフトウェアのインストール後にコンピュータの日付と時刻を変更しないでください。

- Analyst MD ソフトウェアをインストールする前に、コンピュータの日付と時刻が正しいことを確認してください。Analyst MD ソフトウェアのインストール後、日付と時刻を手動で変更すると、ライセンスが無効となり、Analyst MD ソフトウェアにログインできなくなる場合があります。
- Analyst MD ソフトウェアをインストールする前に、ソフトウェアに付属のソフトウェアインストールガイドとリリースノートをお読みください。処理用ワークステーションと測定用ワークステーションの違いを理解したうえで、適切なインストールシーケンスを実行します。
- Analyst MD がインストールされているすべてのワークステーションには、有効なソフトウェアライセンスが必要です。これには、測定用ステーションと処理用ステーションが含まれます。これらのライセンスは新たに購入した機器に付属しているほか、SCIEX から別途購入することも可能です。Analyst MD ソフトウェアバージョン 1.7.3 以降、電子ライセンスのみ対応しています。[電子ライセンス](#)を参照してください。ライセンスの購入について質問がある場合は、SCIEX の営業担当者に連絡するか、または sciex.com/request-support を使用してテクニカル サポートにお問い合わせください。
- 最新バージョンの Analyst MD ソフトウェアのデータファイルは、以前のバージョンの Analyst MD ソフトウェアと互換性がない場合があります。ただし、旧バージョンの Analyst MD ソフトウェアで取得したデータは、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアで開くことができます。
- Analyst MD 1.7.3 またはそれ以降のバージョンで作成した Results Table は、Analyst MD 1.6.3 またはそれ以前のバージョンで開くことができません。新しいバージョンの Analyst MD ソフトウェアで作成した Results Table は、以前のバージョンでは開くことができない場合があります。

はじめに

- それぞれのタスクが完了するたびに、本ガイドのインストール手順の冒頭に記されたタスクリストにチェックマークを付けて確認してください。インストール手順を実行する順序は重要です。
- Analyst MD 1.7.3 は、新規のお客様、およびサポート対象の旧バージョンの Analyst MD ソフトウェアからアップグレードするお客様に、Web ダウンロードパッケージとして提供されています。
- Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアと他のソフトウェアアプリケーションの互換性については、[互換ソフトウェア](#) を参照してください。

オペレーティングシステム要件

コンピュータと OS の要件は、以下の表を参照してください。

表 2-1 : 測定用 / 処理用ワークステーションのコンピュータ / オペレーティングシステムの要件

コンピュータ	オペレーティングシステム
SCIEX ワークステーション	Windows 10、64 ビット版 (Windows 10 IoT Enterprise 2019 1809 LTSC EMB 64 ビット英語版)
SCIEX Alpha Workstation 2020	Windows 10、64 ビット版 (Win10 IoT Enterprise 2019 1809 LTSC 64 ビット EMB 英語版) オペレーティングシステム
Dell Optiplex XE2 コンピュータ	Windows 10、64 ビット版 (Win10 IoT Enterprise LTSC 1607 64 ビット EMB 英語版) オペレーティングシステム

ネットワーク環境

Analyst MD ソフトウェアは Windows 2008 R2 および 2012 サーバーに対応しています。

測定用コンピュータのハードウェア要件

SCIEX 3200MD、SCIEX 4500MD、および Citrine システムには、SCIEX ワークステーション測定用コンピュータが付属しています。現在 Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアの使用が認められている測定用コンピュータは、このコンピュータと、データ測定用に SCIEX から提供される SCIEX Alpha Workstation 2020 および Dell Optiplex XE2 Workstation のみです。構成済みのこれらのコンピュータは、すべての要件を満たし、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアによる広範なテストと検証を受けたものです。

注: 将来、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアの使用を承認された新しい測定用コンピュータが導入される可能性があります。詳しくは、SCIEX 営業担当者までお問い合わせください。

注: 測定用コンピュータについては、セキュリティの変更など重要な Windows の更新のみを行うことを強く推奨します。システムの機能がウイルスによって損なわれないよう、適切なウイルス保護対策が実施されていることを確認してください。詳細については、sciex.com/productsecurity をご覧ください。

注: コンピュータと Ethernet ケーブルの設定が **never go to sleep** になっていることを確認してください。SCIEX のコンピュータ画像では、これらは正しく設定済みです。

SCIEX では、測定用ワークステーションについて以下の最小コンピュータ構成を推奨しています。

SCIEX ワークステーション

要件

- Intel Xeon プロセッサ W-2245 (8C 3.9GHz 4.7GHz Turbo HT 16.5MB、155W DDR4-2933)
- 32G GB (2 × 16 GB) 3200MHz DDR4 RDIMM ECC
- 2 × 1 TB SSD (RAID1) + 2 M.2 キャリア
- Intel 内蔵 Ethernet カード 1 枚 + 追加の Broadcom デュアルポートカード 1 枚

SCIEX Alpha Workstation 2020

- Intel Core i5-8500
- 32G GB (2 × 16 GB) DDR4 2666MHz DDR4 UDIMM Non-ECC
- 2 × 2 TB HDD (RAID1)
- Intel 内蔵 Ethernet カード 1 枚 + 追加のシングルポート Intel Ethernet カード 2 枚。

Dell Optiplex XE2 Workstation

- Intel Core i5-4570S プロセッサ (クアッドコア、2.90 GHz、6MB、HD グラフィックス 4600)
- 8 GB (2 × 4 GB) DDR3 1600Mhz SDRAM
- 2 × 2 TB HDD
- シングルポート Broadcom Ethernet カード 2 枚

処理用ワークステーションのハードウェア要件

SCIEX では、処理用ワークステーションについて以下の最小コンピュータ構成を推奨しています。

- Intel Core i5-4570S プロセッサ
- 8 GB (2 × 4 GB) DDR3 1600MHz SDRAM

SCIEX アドオンソフトウェアの中には、追加のメモリー、ディスク容量、処理速度を必要とするものもあります。ソフトウェアに付属のドキュメントを参照してください。

SCIEX 測定用ワークステーションの現在の構成

SCIEX 測定用ワークステーションは、Windows 10、64 ビット (Win10 IoT Enterprise 2019 1809 LTSC 64 ビット) オペレーティングシステムをインストールした状態で出荷されています。

このコンピュータは RoHS に適合しており、測定用ワークステーションまたはスタンドアロンの処理用コンピュータとして使用できます。すべての Windows 10 OS には、Internet Explorer 11 が搭載されています。カードに必要なドライバソフトはほとんどインストールされています。

測定用ワークステーションには以下が搭載されています。

- Intel 内蔵 Ethernet カード + 追加の Broadcom デュアルポートカード 1 枚

測定用ワークステーションは以下の外付けインターフェースおよびカードに対応しています。

- GPIB (付属していません)
- シリアル (付属していません)

- NI DAQ ADC PCIe カード(付属していません)

注: データ収集には National Instruments USB-GPIB が必要となる可能性があります、これは同梱されていません。

注: 周辺装置のコントロールには Edgeport USB が必要となる可能性があります、これは同梱されていません。

注意: 測定の障害要因。BIOS の電源管理設定を変更しないでください。電源管理設定を変更すると、サンプル間に長い遅延時間を発生させてバッチ測定を妨げることがあります。

対応しているカードとドライバのバージョン

以下の表には、現在出荷中の測定用ワークステーションにインストールされているドライバのバージョン、対応しているドライバのバージョン、対応しているスロットが示されています。

表 2-2 : 対応しているカードとドライバのバージョン: SCIEX ワークステーション

カード名	ドライバのバージョン
GPIB (USB)	17.0
ADC	17.1
ネットワークカード - Broadcom デュアルポート	14.1 以降
EdgePort USB	6.4.1.0
ネットワークカード — Intel I219-LM Ethernet	12.1 以降

表 2-3 : 対応しているカードとドライバのバージョン: SCIEX Alpha Workstation 2020

カード名	ドライバのバージョン
GPIB (USB)	17.0
ADC	17.1
ネットワークカード – Intel Ethernet Server Adapter I350-T2 - デュアルポートネットワークアダプタ (PN 5068976)	9.3.41.0 以降
EdgePort USB	6.4.1.0
ネットワークカード – Intel I210 1Gb Ethernet アダプタ (1X1GbE)	12.0.0.0 以降

表 2-4 : 対応しているカードとドライバのバージョン: Dell XE2 コンピュータ

カード名	ドライバのバージョン
GPiB (USB)	17.0
ADC	17.1
ネットワークカード – Intel Pro/1000 PT デュアルポート	9.3.41.0 以降
EdgePort USB	6.4.1.0
ネットワークカード - Broadcom	16.2.0.4 以降

Reporter 3.2 の要件

Microsoft Word 2013、Microsoft Word 2016、または Office 365 が必要です。

PDF レポート機能

ソフトウェアのインストール時に、「すべての形式 (Microsoft Word、テキスト、Microsoft Excel、HTML、PDF)」あるいは「PDF 形式のみ」のいずれかでレポートを生成するかを選択します。

Windows 10 のユーザーアカウント制御の要件

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをコンピュータにインストールする場合、ユーザーアカウント制御は Windows のデフォルト設定を使用することをお勧めします。管理者の場合、デフォルト設定は **Default – Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Default – Always notify me** です。

測定用コンピュータは、デフォルトのユーザーアカウント制御設定を用いて構成されています。

必須ソフトウェア

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをインストールする前に以下の手順を実行します。.NET Framework 3.5 以外は、まだコンピュータにインストールされていない場合、Analyst MD ソフトウェアのインストーラーによって自動的にインストールされます。

注: Analyst MD Software Reporter と Instrument Optimization を使用してレポートを作成するには、Microsoft Word 2013、Microsoft Word 2016、または Office 365 が必要です。

- .NET 3.5 SP1

注: .NET Framework 3.5 がインストールされていない場合は、.NET Framework 3.5 がインストールされていないのでインストール完了後にインストールするようにとのメッセージが表示されます。ユーザーは、IT 部門に連絡するか、[インストール方法](#) を参照して、.NET Framework 3.5 を有効にする必要があります。[図 3-1](#) を参照してください。

- .NET Framework 4.5.1

- MS VC++ 2008 SP1 redistributable
- MS VC++ 2008 SP1 ATL security redistributable
- Visual Studio 2010 Tools for Office Runtime
- SCIEX Reporter Template Suite 3.2

互換ソフトウェア

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアに対応しているのは、本リリース時点では、以下のソフトウェアです。

表 2-5 : 互換ソフトウェア

ソフトウェア名称	その他の情報
Analyst Device Driver 1.3	—
ChemoView MD 2.0.4 ソフトウェア	テストは行っていないが、動作する見込みです。
MultiQuant MD 3.0.3 ソフトウェア (HotFix 3 搭載)	テストは行っていないが、動作する見込みです。
StatusScope Remote Monitoring Service 2.2.2	—

対応している質量分析装置

Analyst MD 1.7.3 1.6.3 ソフトウェアは、以下の SCIEX 質量分析装置から入手したデータを管理 / 分析できます。

- SCIEX Triple Quad 3200MD システム
- 3200MD QTRAP システム
- SCIEX Triple Quad 4500MD システム
- QTRAP 4500MD システム
- Citrine Triple Quad システム
- Citrine QTRAP システム

DVD の主なコンテンツ(利用可能な場合)

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア DVD には、以下のソフトウェアアプリケーション、ファイル、フォルダー、およびドキュメントが含まれています。

- Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアフォルダー: スクリプト、ソフトウェアガイド、チュートリアル、`setup.exe`、Reporter ソフトウェアのインストールに必要なすべてのファイル、.NET Framework 3.5 を除くすべての必須ソフトウェアのインストールに必要なすべてのファイル、および Analyst MD ソフトウェアのインストールに必要なすべてのファイルが含まれています。
- Drivers フォルダー: ADC、Edgeport 6.04、GPIB 17.0、NIDAQ1710f0 ドライバの各フォルダーが含まれています。
- Extras フォルダー: 以下のフォルダーが含まれています。

要件

- Analyst Device Driver 1.3: 装置のドライバソフトウェアと関連ドキュメントが含まれています。
- Analyst Diagnostic Tool 1.0.2: Analyst Diagnostic Tool ソフトウェアと関連ドキュメントが含まれています。
- Instrument Update: ファームウェア / 構成テーブルのアップデートプログラム (ConfigUpdater.exe) が含まれています。
- リリースノート
- Analyst MD ソフトウェアインストールガイド(本書)
- license.rtf

注: ドキュメントとその場所に関する完全なリストは、[Analyst MD ソフトウェアドキュメント](#)を参照してください。

Web ダウンロードパッケージのコンテンツ(AN)

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア Web ダウンロード パッケージには、次のソフトウェアアプリケーション、ファイル、フォルダー、およびドキュメントが含まれています。

- Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアフォルダー: スクリプト、ソフトウェアガイド、チュートリアル、setup.exe、Reporter ソフトウェアのインストールに必要なすべてのファイル、.NET Framework 3.5 を除くすべての必須ソフトウェアのインストールに必要なすべてのファイル、および Analyst MD ソフトウェアのインストールに必要なすべてのファイルが含まれています。
- Drivers フォルダー: Edgeport 6.04 ドライバフォルダーと ADC フォルダーが含まれています。
- Extras フォルダー: 以下のサブフォルダーが含まれています。
 - Instrument Update: ファームウェア / 構成テーブルのアップデートプログラム (ConfigUpdater.exe) が含まれています。
 - Analyst Diagnostic Tool 1.0.2: Analyst Diagnostic Tool ソフトウェアと関連ドキュメントが含まれています。
- リリースノート
- Analyst MD ソフトウェアインストールガイド(本書)
- license.rtf

注: ドキュメントとその場所に関する完全なリストについては、[Analyst MD ソフトウェアドキュメント](#)を参照してください。

Analyst 1.7.3 ソフトウェアの Web ダウンロードパッケージは、sciex.com/software-support/software-downloads からダウンロードできます。ただし、GPIB 17.0 ドライバ、Analyst Device Driver 1.3、National Instrument ADC ドライバは、ソフトウェア Web ダウンロードパッケージに含まれていません。GPIB 17.0 ドライバを除き、これらは sciex.com/software-support/software-downloads の **Additional Downloads > Drivers** からダウンロードできます。GPIB 17.0 ドライバが必要な場合は、National Instrument のサポートサイト(<https://www.ni.com/en-ca/>)

[support.html](#))にアクセスし、NI-448.2 用の GPIB ドライババージョン 17.0 をダウンロードしてください。

本項では、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア DVD を使用して、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをインストール、または同バージョンにアップグレードする手順を説明します。

新規インストールの場合は、Analyst ソフトウェアの MD 以外のバージョンをホストしたことがないコンピュータに、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをインストールする必要があります。Analyst ソフトウェアの MD 以外のバージョンがインストールされていた場合は、本ソフトウェアをインストールする前に、ホストコンピュータイメージを再適用する必要があります。ただし、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアの再インストールでは、PC でイメージを再作成する必要はありません。

Windows 10 オペレーティングシステムでは、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアに以下のバージョンの Analyst MD ソフトウェアからアップグレードできます。

- Analyst MD 1.6.3 ソフトウェア
- Analyst MD 1.6.3 ソフトウェア (HotFix 1 搭載)
- Analyst MD 1.6.3 ソフトウェア (HotFix 2 搭載)
- Analyst MD 1.6.3 ソフトウェア (HotFix 3 搭載)

注: Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアへのアップグレードを旧バージョンの Analyst MD ソフトウェアから行うことは、Windows 10 プラットフォーム上でのみ可能です。

注: Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをインストールするには、管理者権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

注: Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをシステムから削除すると、以前のインストール構成に戻るのではなく、ソフトウェアが完全に削除されます。Analyst Data フォルダーは削除されませんが、念のためこのフォルダーをアーカイブしておくことが推奨されます。装置の設定は維持されますが、アプリケーションの設定はこの限りではありません。

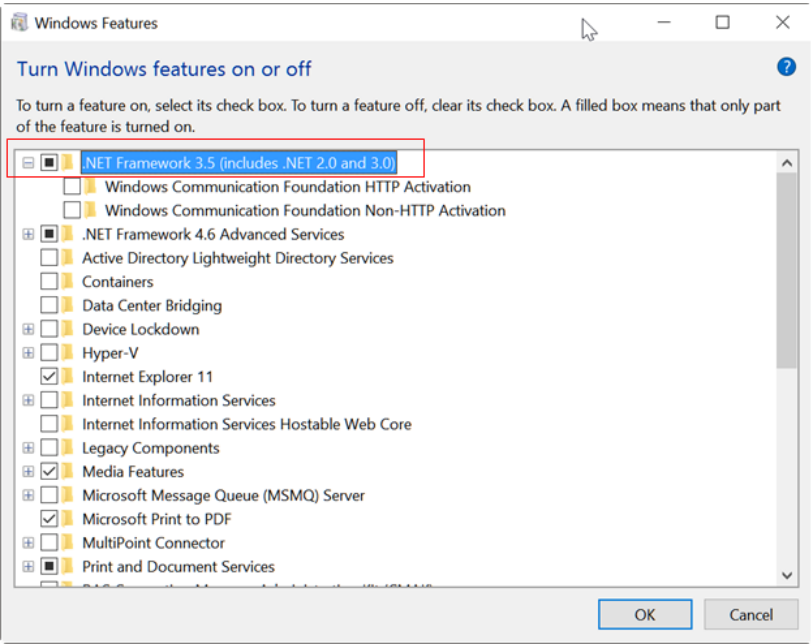
注: 測定用ワークステーションを Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアにアップグレードする場合、処理用ワークステーションもアップグレードすることが推奨されます。

注: 測定用コンピュータについては、セキュリティの変更など重要な Windows の更新のみを行うことを強く推奨します。システムの機能がウイルスによって損なわれないよう、適切なウイルス保護対策が実施されていることを確認してください。詳細については、sciex.com/productsecurity をご覧ください。

Windows 10 オペレーティングシステムでは、**Control Panel > Program and Features** で **Turn Windows features on or off** を選択して、Windows Features ダイアログを開きます。**.NET Framework** 機能が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、.NET Framework 3.5 がインストールされていません。これを選択して、.NET Framework 3.5 のインストールを可能にしてください。この操作には IT 部門の許可が必要な場合があります。[図 3-1](#) を参照してください。

注: 現在 SCIEX が出荷中の Analyst MD 1.6.3 ソフトウェア用コンピュータイメージには、.NET Framework 3.5 がインストールされています。

図 3-1 : Windows Features ダイアログ



Windows 10 オペレーティングシステムの英語版にのみ対応しています。

地域と言語の設定については、[地域と言語設定](#)を参照してください。

測定用ワークステーションと処理用ワークステーションの設置方法ガイドの使い方

このセクションのアップグレード手順は、測定用と処理用の両ワークステーションに使用できます。測定用ワークステーションは、質量分析装置に接続されたワークステーションです。処理用ワークステーションは、質量分析装置に接続されていないワークステーションです。

以下の表を参考に、ワークステーションの種類に応じてどのアップグレード手順を実行すればよいかを理解してください。

表 3-1 : 測定用および処理用ワークステーションの手順

ワークステーション	手順
測定用ワークステーション	このセクションのすべての手順を実行してください。オプションの手順もあれば、ワークステーションに特定のインターフェースカードが装着されている場合にのみ必要な手順もあります。

表 3-1 : 測定用および処理用ワークステーションの手順 (続き)

ワークステーション	手順
処理用ワークステーション	<p>測定用ワークステーションにのみ適用される手順を除き、すべての手順を実行してください。</p> <p>以下に関するアップグレード手順は省略します。</p> <ul style="list-style-type: none"> カードとドライバソフトウェア ファームウェアと構成テーブルのアップグレード

インストール時のタスクリスト

以下のチェックリストを用いて、すべての必須ステップを完了させてください。

ヒント! このタスクリストを印刷し、インストール手順が完了したら、各手順に完了のマークを付けてください。

表 3-2 : タスクリスト

ステップ:	手順	完了
ワークステーションが Analyst MD ソフトウェアをインストールするための要件を満たしていることを確認する。	インストール時のタスクリスト	<input type="checkbox"/>
装置とワークステーションをインストールに向けて準備する。	質量分析装置とワークステーションをインストールに向けて準備する	<input type="checkbox"/>
ユーザーアカウント制御の設定を確認する。	ユーザーアカウント制御の設定	<input type="checkbox"/>
Analyst Data フォルダを安全な場所にバックアップする。	Analyst Data フォルダを安全な場所にバックアップする	<input type="checkbox"/>
Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをインストールする。	Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのインストール	<input type="checkbox"/>
(測定用ワークステーションのみ) 必要に応じて、ファームウェアと構成テーブルを更新する。	ファームウェアと構成テーブルを更新する	<input type="checkbox"/>
Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのライセンスをオンラインでアクティベートする。	電子ライセンス	<input type="checkbox"/>

表 3-2 : タスクリスト (続き)

ステップ:	手順	完了
インストールしたレポートテンプレートを安全な場所にバックアップする。	Reporter 3.2 ユーザーマニュアルを参照してください。 • Start > SCIEX Reporter 3.2 > Reporter Documentation	<input type="checkbox"/>
.NET Framework 3.5 の機能を有効にする	Control Panel > Program and Features から Turn Windows features on or off を選択し、Features ダイアログを開きます。 .NET Framework 3.5 機能が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、選択して .NET Framework 3.5 のインストールを有効にします。これを行うには、IT 部門の許可が必要な場合があります。図 3-1 を参照してください。	<input type="checkbox"/>
Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアを初めて起動する。	ライセンス認証後、初めてソフトウェアを起動する	<input type="checkbox"/>

インストールに向けて準備する

ソフトウェア DVD を用意する

- Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア DVD がある場合は、場所を確認します。
- 必要に応じて、オプションのアドオンソフトウェアが含まれている DVD もすべて探します。

質量分析装置とワークステーションをインストールに向けて準備する

注: ワークステーションからいずれのカードも取り外さないでください。

- 管理者権限を持つユーザーとしてコンピュータにログオンします。
- 測定用ワークステーション: ワークステーションに GPIB コネクタが備わっている場合、質量分析装置の電源が入っており、質量分析装置がワークステーション背面の GPIB コネクタに接続されていることを確認してください。
- 旧バージョンの Analyst MD ソフトウェアからアップグレードする場合は、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをインストールする前に以下の手順を実行します。
 - ハードウェアプロファイルを非アクティブ化します。
 - Convert Methods スクリプトと sMRM Calculator スクリプトがインストールされている場合は、削除します。
 - Analyst MD ソフトウェアを終了します。
- .NET 3.5 が有効になっていない場合は、有効にします。図 3-1 を参照してください。

インストール方法

注: Windows 10 オペレーティングシステムを搭載した SCIEX コンピュータでは、デフォルトで .NET 3.5 が有効になっています。

- a. Windows 10 オペレーティングシステムでは、コンピュータで .NET 3.5 がまだ有効になっていない場合は、**Control Panel > Program and Features** で **Turn Windows features on or off** を選択します。
Windows Features ダイアログが開きます。
- b. **.NET Framework 3.5** オプションを選択し、.NET 3.5 のインストールを有効にします。IT 部門の許可が必要な場合があります。
- c. Windows Features ダイアログで、.NET 3.5 の存在を確認します。有効になっている場合、**.NET Framework 3.5** オプションは選択されます。

Analyst Data フォルダーを安全な場所にバックアップする

既存の Analyst Data フォルダーの名前は変更しないでください。前回のインストール時と同じ Analyst Data フォルダーを使用することをお勧めします。これにより、ハードウェアプロファイル、メソッド、データファイルといった既存のデータに引き続きアクセスできます。また、InstrumentData.ins ファイル、ParameterSettings.psf ファイル、および該当する場合は *.Analyst Backup ファイルも保持されます。Citrine システムでは、アップグレード前までは、ユーザーがモードを低質量から高質量に切り替え、さらに高質量から低質量に切り替えた場合、InstrumentData.ins ファイル用に 2 つのバックアップファイルが、そして ParameterSettings.psf ファイル用にも 2 つのバックアップファイルが作成されました。

- Analyst Data フォルダー内のファイルとサブフォルダーのバックアップコピーを作成してください。フォルダー名は変更しないでください。デフォルトの場所は D:\Analyst Data です。バックアップは安全な場所（ネットワークドライブや DVD など）に作成します。これらのファイルは、通常のアップグレードの一環として復元する必要はありません。ただし、バックアップの存在を確認するのは良いことです。

Analyst Data フォルダーには、(装置のキャリブレーション / パラメータの基本設定が保存されている) API Instrument フォルダーも含まれています。

注: 標準的なインストールの一環として、API Instrument フォルダー、CompoundDB.mdb、および CompoundLib.db が、システムの TEMP フォルダーに自動的にバックアップされます。このフォルダーは通常、C:\Users\<username>\AppData\Local\Temp に格納されています。ただし、このバックアップに頼ることは避けてください。Analyst Data フォルダーを常にバックアップし、絶対に必要な場合にのみ使用してください。

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのインストール

注: Analyst MD Software Reporter と Instrument Optimization を使用してレポートを作成するには、Microsoft Word 2013、Microsoft Word 2016、または Office 365 が必要です。Microsoft Word 2013、Microsoft Word 2016、または Office 365 がシステムにインストールされていない場合は、インストール処理中に、Analyst MD Software Reporter が正常に動作するには Microsoft Word 2013、Microsoft Word 2016、または Office 365 が必要であることを知らせる警告が表示されます。インストールをキャンセルするか、または続行します。Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのインストール後、必要に応じて Microsoft Word 2013、Microsoft Word 2016、または Office 365 をインストールします。

注: Analyst MD ソフトウェアを Analyst Device Driver (ADD) と一緒に使用する場合は、次の手順を実行します。

1. Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアをインストールするか、このバージョンにアップグレードします。
ソフトウェアを [DVD からインストールする\(利用可能な場合\)](#) または [Web ダウンロードパッケージからソフトウェアをインストールする](#) を参照してください。
2. DVD がある場合はそれを使用して ADD 1.3 をインストールするか、または sciex.com/software-support/software-downloads の **Additional Downloads** > **Drivers** から ADD バージョン 1.3 をダウンロードします。[ADD 1.3 のインストール](#) を参照してください。

注: ADD バージョン 1.3 を sciex.com/software-support/software-downloads からダウンロードする場合は、ADD 1.3 パッケージとは別に ADD 1.3 Release Notes とチュートリアルを必ずダウンロードするようにしてください。別のドキュメントには、ADD 1.3 パッケージに付属するリリースノートやチュートリアルに含まれていない、最新のアップデートが記載されています。

以下の手順を実行して、ワークステーションを Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアにアップグレードします。

注: システムの機能がウイルスによって損なわれないよう、十分なウイルス保護対策が実施されていることを確認してください。[サイバーセキュリティ](#) を参照してください。

ソフトウェアを DVD からインストールする(利用可能な場合)

1. 旧バージョンの Analyst MD ソフトウェアからアップグレードする場合、ハードウェアプロファイルがアクティブ化されている場合は非アクティブ化し、Analyst MD ソフトウェアを終了します。
2. コンピュータを再起動します。

注: Microsoft Endpoint Configuration Manager(MECM)などの展開ツールを使ってソフトウェアをインストールする場合は、[展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする](#)の説明に従って、手順 6 に進みます。

3. Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア DVD をコンピュータの DVD ドライブに挿入します。
4. DVD 上で Analyst MD 1.7.3 フォルダーに移動し、**setup.exe** をダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って Analyst MD ソフトウェアをインストールします。

インストール方法

- Analyst MD ソフトウェアのインストール後、ライセンスファイルをインストールするか、Analyst1.7.lic を C:\ProgramData\AB SCIEX\Analyst\License フォルダに保存します。ライセンスを取得してインストールするには、[電子ライセンス](#)を参照してください。
- (測定用ワークステーション)該当する場合は、次のステップに進む前にファームウェアと構成テーブルをアップグレードします。[ファームウェアと構成テーブルを更新する](#)を参照してください。
- デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして Analyst MD ソフトウェアを起動します。
- (測定用ワークステーション)ハードウェアプロファイルを構成してからアクティブ化します。
- ソフトウェアをテストして、データを測定または処理できることを確認します。

Web ダウンロードパッケージからソフトウェアをインストールする

注: 圧縮された Web ダウンロードパッケージをダブルクリックすると Windows Explorer に setup.exe ファイルが表示されますが、このファイルを使用してソフトウェアを直接インストールしないでください。

- Analyst MD ソフトウェアでアクティブなハードウェアプロファイルを非アクティブ化します。
- Analyst MD ソフトウェアを終了します。
- コンピュータを再起動します。
- Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアの Web ダウンロードパッケージ (AnalystMD173-WebRelease.zip) を sciex.com/software-support/software-downloads からコンピュータにダウンロードします。

注: インストール時の問題を避けるため、ファイルはローカルコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存することをお勧めします。

- 圧縮された Web ダウンロードパッケージからローカルハードドライブにファイルを解凍します。

注: Microsoft Endpoint Configuration Manager (MECM) などの展開ツールを使ってソフトウェアをインストールする場合は、[展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする](#)の説明に従って、手順 9 に進みます。

注: ソフトウェアをローカルハードディスクに解凍せずに圧縮パッケージから直接インストールすることはしないでください。

- AnalystMD173-WebRelease.zip のコンテンツが抽出されたフォルダに移動します。
- setup.exe をダブルクリックします。
インストールウィザードが開きます。
- 画面に表示される指示に従ってソフトウェアをインストールします。
- Analyst ソフトウェアのインストール後、ライセンスファイル Analyst1.7.lic をインストールし、これが C:\ProgramData\AB SCIEX\Analyst\License フォルダにインストールされていることを確認します。
ライセンスを取得してインストールするには、[電子ライセンス](#)を参照してください。

10. (測定用ワークステーション)該当する場合は、次のステップに進む前にファームウェアと構成テーブルをアップグレードします。[ファームウェアと構成テーブルを更新する](#)を参照してください。

ADD 1.3 のインストール

注: 詳細については、Analyst Device Driver (ADD) のドキュメントを参照してください。

注: 必要に応じて、ADD バージョン 1.3 を Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのインストール完了後にインストールしてください。

1. DVD の Extras フォルダー内に Analyst Device Driver 1.3 がある場合はその場所を確認するか、または ADD バージョン 1.3 を [sciex.com/software-support/software-downloads](https://www.sciex.com/software-support/software-downloads) の **Additional Downloads > Drivers** からダウンロードしてください。
2. ADD 1.3 をダウンロードした場合は、ZIP ファイルからローカルのハードディスクにファイルを解凍してください。
3. setup.exe をクリックして、画面に表示される指示に従います。

展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする

Analyst MD ソフトウェアは、Windows の管理者アカウントまたは管理者以外の SYSTEM アカウントを使用して、Microsoft Endpoint Configuration Manager (MECM) などの展開ツールでインストールすることができます。

SYSTEM アカウントを使用する場合、Analyst MD ソフトウェアをインストールするワークステーションのユーザーは、Windows の管理者権限を持っている必要はありません。

この手順は、新規インストールと、ローカルのセキュリティデータベースを使用するアップグレードインストールに適用されます。アップグレードインストールの場合、セキュリティデータベースは上書きされません。

1. 展開ツールを使用して、C:\ ドライブに AnalystTemp フォルダーを作成します。
このフォルダーには、ソフトウェアのインストールログファイルが保存されます。
2. SYSTEM アカウントを使用している場合は、**SDBInfo** レジストリキーを作成し、展開ツールを使用して展開してください。

注: Windows の管理者アカウントでソフトウェアを展開する場合は、**SDBInfo** レジストリキーは不要です。

Value Name エントリはすべて、**String Value** タイプを使用する必要があります。**User** または **Group** の少なくとも一方を指定する必要があります。[表 3-3](#) を参照してください。**SDBInfo** レジストリキーの例は、[図 3-2](#) を参照してください。

図 3-2 : SDBInfo レジストリキーの例

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\SciexSccm\Analyst\SDBInfo]
"UseMixedMode"="Yes"
"Domain"="DomainName"
```

```
"UserName"="First.Last"
"UserType"="Administrator"
"GroupName"="SharedAccounts"
"GroupType"="Operator"
```

表 3-3 : SBDInfo 値文字列の要件

値文字列		コメント
値の名前	値データ(例)	
UseMixedMode	Yes	<p>Yes: Analyst MD ソフトウェアでは Mixed Mode が使用されます</p> <p>No: Analyst MD ソフトウェアでは統合モードが使用されます</p> <hr/> <p>注: この値文字列はオプションです。存在しない場合は、Analyst MD ソフトウェアでは統合モードが使用されます。</p>
ドメイン	DomainName	ユーザー名とグループ名が属するドメインの名前。この値文字列は必須です。
UserName	FirstName.LastName	Analyst MD ソフトウェアをインストールするコンピュータで Windows にログオンするドメインユーザーの名前。
UserType	Administrator	Analyst MD ソフトウェアのセキュリティ構成におけるユーザーの役割タイプ。デフォルトの役割は、Administrator、Analyst、Operator、End User、QA Reviewer、Supervisor です。
GroupName	ShareAccounts	定義されたドメイン上のグループ名。
GroupType	Operator	Analyst MD ソフトウェアのセキュリティ構成におけるユーグループの役割タイプ。デフォルトの役割は、Administrator、Analyst、Operator、End User、QA Reviewer、Supervisor です。

3. 展開ツールを使用して、インストールファイルの場所から以下のサイレントインストールコマンドを実行し、ソフトウェアをインストールします。

```
setup.exe /s /v/qn /v"/l* "c:\AnalystTemp\analyst.txt"" /v/  
norestart
```

4. Analyst MD ソフトウェアを開く前に、Analyst MD ソフトウェアがインストールされたコンピュータを再起動してください。

ファームウェアと構成テーブルを更新する

注: Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアでサポートされているファームウェアと構成テーブルのバージョンについては、[ファームウェアと構成テーブルファイル](#)を参照してください。

注: ハードウェアプロファイルの有効化と測定に Analyst MD ソフトウェアを使用する前に、ファームウェア、および該当する場合は構成テーブルをアップグレードしておく必要があります。

Firmware and Configuration Table Update ユーティリティを使用すると、システム上でファームウェアまたは構成テーブルを更新する必要があるかどうかを自動的に判断することができます。ユーティリティは、必要とされるアップデートのみを実行します。またユーティリティによって、質量分析装置のシステムコントローラがリセットされることもあります。これは、更新プロセスで必要とされる通常の動作です。

システムに GPIB 接続が備わっている場合、このユーティリティを実行する前に、質量分析装置がオンになっており GPIB カードに接続されていること、そして GPIB ドライバソフトウェアが適切にインストールされていることを確認してください。

1. DVD を使用する場合は、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア DVD を DVD ドライブに挿入します。
2. DVD ドライブまたは解凍した Web ダウンロードパッケージの
\\Extras\\Instrument Update\\ConfigUpdater フォルダーに移動し、
ConfigUpdater.exe をダブルクリックします。
Select Interface ダイアログが開きます。
3. (SCIEX 4500MD および Citrine システム) **Ethernet** インターフェースオプションを選択し、
OK をクリックします。
ConfigUpdater ユーティリティが開き、インストールする新しいファームウェアのバージョンを示します。

注: ConfigUpdater ユーティリティは、質量分析装置をリセットします。これは、更新プロセスで必要とされる通常の動作です。

4. **Next** をクリックします。
Click OK to start the upload and do not interrupt. The buttons will be disabled until the upload finishes. というメッセージが表示されます。
5. **OK** をクリックしてアップロードを開始します。
6. Uploaded firmware is ready というメッセージが表示されるまで待ち、**OK** をクリックします。
対応機器のリストを含む Firmware/Configuration Table Update Program ダイアログが開きます。

インストール方法

7. **Next** をクリックします。
構成テーブルのより新しいバージョンが検出され、それを示すダイアログが開きます。

注: ユーティリティが示す構成ファイル名に複数の選択肢がある場合は、**ファームウェアと構成テーブルファイル**に示すバージョンを選択します。

8. **Next** をクリックします。
Click OK to start the upload and do not interrupt. The buttons will be disabled until upload finishes. というメッセージが表示されます。
9. **OK** をクリックし、Uploaded Configuration Table is ready. というメッセージが表示されるまで待ちます。
10. **OK** をクリックします。
構成テーブルの更新が完了し、ConfigUpdater は、構成テーブルが最新のバージョンであることを確認しています。
11. **Finish** をクリックしてユーティリティを閉じます。

GPIO ドライバのインストール

注: GPIO 17.0 は、該当するすべての SCIEX Windows 10 コンピュータイメージにプリインストールされています。

注: この手順は、SCIEX 3200MD システムに使用する測定用ワークステーションで、GPIO 17.0 がインストールされていない場合にのみ必要です。

GPIO ドライバの最新バージョンは、この手順でインストールします。

1. Windows ローカル管理者権限を持つユーザーとしてコンピュータにログオンします。
2. Analyst MD ソフトウェア DVD を使用する場合は、**Analyst MD 1.7.3 Software DVD** をコンピュータの DVD ドライブに挿入します。
3. DVD の Drivers\GPIO 17.0 フォルダーに移動します。
4. **NI4882_1700f0.exe** の場所を確認し、ダブルクリックします。
5. 画面に表示される指示に従ってドライバをインストールします。
6. Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアの Web ダウンロードパッケージを使用している場合は、National Instrument のサポート(<https://www.ni.com/en-ca/support.html>)に連絡して、NI-488.2 用の GPIO ドライババージョン 17.0 をダウンロードします。ダウンロードしたファイルを解凍し、ドライバをインストールしてください。

Install the National Instrument ADC ドライバのインストール

注: National Instrument ADC カードを LC 装置で測定に使用する場合のみ、このドライバをインストールしてください。

ADC ドライバの最新バージョンは、この手順でインストールします。

1. Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアの Web ダウンロードパッケージを使用する場合は、ADC ドライバを sciex.com/software-support/software-downloads の **Additional Downloads > Drivers** からダウンロードします。ダウンロードしたファイルを解凍し、ドライバをインストールします。
2. Windows ローカル管理者権限を持つユーザーとしてコンピュータにログオンします。
3. Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア DVD を使用する場合は、Analyst MD 1.7.3 DVD をコンピュータの DVD ドライブに挿入します。
4. DVD の Drivers\ADC\NIDAQ1710f0 フォルダーに移動します。
5. setup.exe の場所を確認し、ダブルクリックします。
6. 画面に表示される指示に従ってドライバをインストールします。

Edgeport 6.04 ドライバのインストール

注: SCIEX ワークステーションでは、この手順は不要です。

注: Edgeport 装置を LC 装置と併用して測定を行う場合のみ、このドライバをインストールしてください。

Edgeport が必要な場合、または Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア (ソフトウェアの旧バージョンから) アップグレードする場合。

1. Edgeport 装置がコンピュータに接続されていないことを確認します。
2. (該当する場合) **Start** メニューの Digi USB にある Edgeport Configuration Utility を使用して、既存の Edgeport ドライババージョン 5.7 を削除します。
3. コンピュータを再起動します。
4. Windows ローカル管理者権限を持つユーザーとしてコンピュータにログオンします。
5. Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアの DVD がある場合はコンピュータの DVD ドライブに挿入します。または、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアのインストールパッケージ (sciex.com/software-support/software-downloads からダウンロードして解凍したもの) の場所を確認します。
6. Drivers\Edgeport6.04 フォルダーに移動します。
7. Edgeport のドライバファイル 40002537_M.exe をダブルクリックします。
8. Edgeport Drivers ダイアログで **Setup** をクリックします。
インストール中にコマンドプロンプトが開きます。
9. コマンドプロンプトが自動的に閉じたら、Edgeport デバイスを接続します。Edgeport ドライバが自動的にインストールされます。
Edgeport ドライバが正常にインストールされたことを確認するには:
 - a. Start メニューで **Digi USB** を選択します。
 - b. **Edgeport Configuration Utility** をクリックします。
 - c. Edgeport デバイスが General タブに表示されていることを確認します。

- d. **Edgeport** をダブルクリックしてリストを展開し、すべてのシリアル (COM) ポートがリストアップされていることを確認します。

(オプション) スクリプトのインストール

スクリプトが多数用意されています。それらは、Analyst MD ソフトウェアの機能を拡張するためのスクリプトです。スクリプトユーザーガイドを参照してください。スタートメニューから利用できます。

- **Start > SCIEX Analyst > Analyst Documentation** の順に進み、**Software Guides** フォルダーをダブルクリックします。

(オプション) sMRM Calculator スクリプトの削除

注: Analyst MD ソフトウェアがバージョン 1.6.3 からバージョン 1.7.3 にアップグレードされた場合、ユーザーが以前にインストールしたスクリプトは自動的にアップグレードされません。これらのスクリプトを削除し、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア用のスクリプトを使用して再度インストールしてください。詳細な情報については、スクリプトユーザーガイドを参照してください。

1. Control Panel を開き、**Programs and Features** をクリックします。**sMRM Calculator** を選択し、**Uninstall** をクリックします。
2. **Yes** をクリックします。
選択したスクリプトが削除されます。

電子ライセンス

Analyst MD ソフトウェアは、測定用と処理用ワークステーション両方のノードロックライセンスをサポートしています。ライセンスファイル名は、ファイル拡張子が lic の Analyst1.7 である必要があります。Analyst MD ソフトウェアがインストールされているコンピュータの

C:\ProgramData\AB SCIEX\Analyst\License に配置する必要があります。

注: 質量分析装置を含むハードウェアプロファイルのアクティブ化やデータ取得には、取得用のノードロックライセンスが必要です。

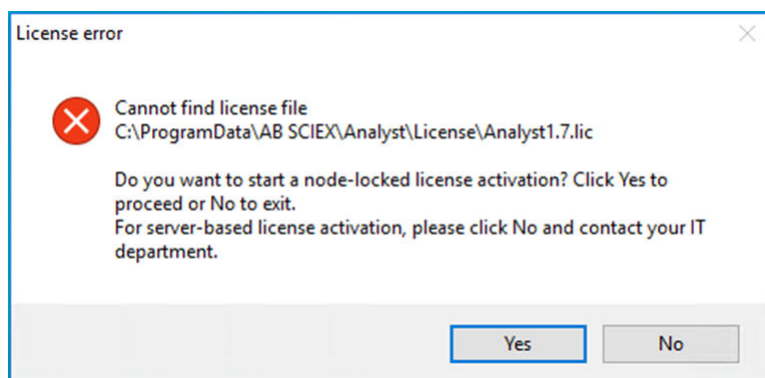
注: ライセンスをアクティブ化した後、コンピュータの日付と時刻を変更しないでください。コンピュータの日時を変更する場合は、ライセンスをアクティブ化する前に実施しないと、ソフトウェアが動作しない場合があります。

注: ノードロックライセンスファイルを変更しないでください。ライセンスファイルを変更すると、ライセンスが無効になり、回復できなくなります。

Analyst MD ソフトウェアのノードロックライセンスをアクティベートする

1. デスクトップ上の Analyst MD アイコンをダブルクリックします。
C:\ProgramData\AB SCIEX\Analyst\License フォルダーにライセンスファイル Analyst1.7.lic が見つからないことを示すメッセージが表示されます。

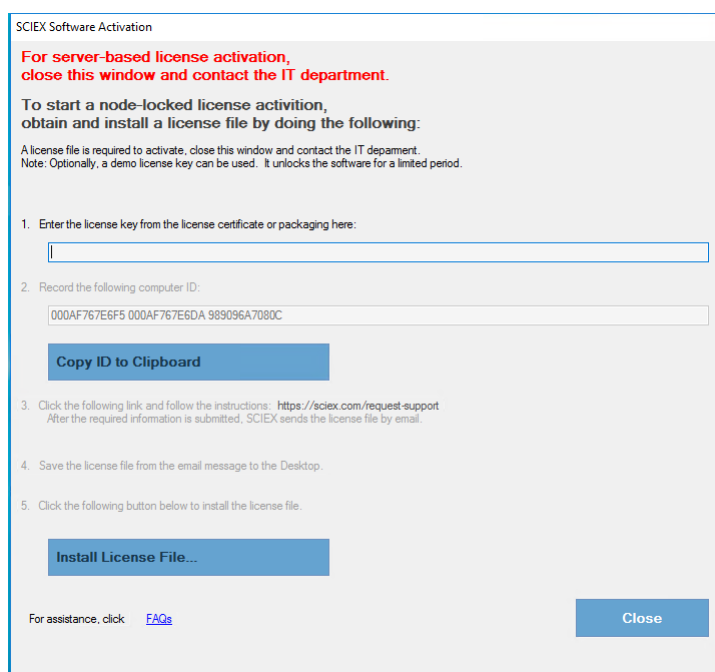
図 3-3 : ライセンスメッセージ



2. **Yes** をクリックして、ノードロックライセンスのアクティベーションを開始します。

ソフトウェアは、ライセンス認証ダイアログを表示して、ソフトウェアの有効化プロセスを開始します。ダイアログの指示に従います。ライセンスキーが必要です。

図 3-4 : ソフトウェアライセンス認証ダイアログ



3. Software Activation ダイアログのステップ 1 のライセンス証明書に記載されたライセンスキーを入力します。

ライセンスキーは、印刷されたアクティベーション証明書、または SCIEX Now からの e メールで配布される場合があります。ライセンスキーがない場合は、SCIEX の営業担当者にお問い合わせください。

注: ライセンスキーは、AID で始まり、ハイフンで区切られた 4 桁のコードを 8 分割した 32 文字で構成されています。

インストール方法

4. Software Activation ダイアログのリンクをクリックします。
SCIEX ログイン Web ページが開きます。
5. **Log In** をクリックして既存の SCIEX アカウントにログオンするか、**Create an Account** をクリックしてアカウントを作成します。
ログオンまたはアカウント作成後、SCIEX のソフトウェア有効化用のウェブページが表示されます。フォームの最初の 3 つのフィールドには、コンピュータ ID およびライセンスキーに加えて、ユーザーの名、姓、e メール ID が表示されます。
6. **Select Your Instrument** で必要な情報を選択して入力します。

注: 処理用ワークステーションのノードロックライセンスをアクティブ化するには、SCIEX 質量分析装置のシリアル番号を使用します。質量分析装置のシリアル番号がない場合は、SCIEX サポート(sciex.com/contact-us)までお問い合わせください。

7. Analyst MD ソフトウェアのライセンス認証を別のコンピュータで行う場合は、コンピュータ ID とライセンスキーを入力します。

コンピュータ ID とは、コンピュータをネットワークに接続するために使われるネットワークポートの MAC アドレスのことです。

Analyst MD ソフトウェアのライセンス認証をこのコンピュータで行う場合、**Computer ID** と **license key** のフィールドには正しい情報がすでに入力されています。

8. **Submit** をクリックします。
ライセンスファイルが添付されたメールを送信するというメッセージが表示されます。
9. e メールを受信したら、添付のライセンスファイルをダウンロードしてデスクトップに保存します。
10. Sciex Software Activation ダイアログのステップ 5 へ進み、**Install License File** をクリックします。ダウンロードしたライセンスファイルを参照して選択し、**Open** をクリックします。
11. C:\ProgramData\AB SCIEX\Analyst\License フォルダーに Analyst1.7.lic がインストールされていることを確認します。

(オプション)9 から 11 のステップを行わずに、ライセンスファイルを
C:\ProgramData\AB SCIEX\Analyst\License フォルダーに直接入れることもできます。

注: ライセンスファイルの名前は必ず Analyst1.7.lic にしてください。

ライセンス認証後、初めてソフトウェアを起動する

1. Analyst MD1.7.3 ソフトウェアを起動します。
2. (測定用ワークステーションの場合)ハードウェアプロファイルを構成してからアクティブ化します。
3. ソフトウェアをテストして、データを測定または処理できることを確認します。

SCIEX では、Analyst MD ソフトウェアのユーザーに対して、最高レベルのサポートを提供することをお約束します。当社の製品についてのご質問、問題のご報告、改善策のご提案などは、当社の Web サイト(sciex.com)で行うことができます。

問題	考えられる原因	修正アクション
インストールしたが、Analyst MD ソフトウェアにログインできない。	<ul style="list-style-type: none">• ユーザー名がセキュリティデータベースに正常に追加されていないか、Analyst MD ソフトウェアのインストール後にコンピュータ名が変更された可能性があります。• ライセンスファイルの名前が正しくないか、正しくないフォルダーに保存されています。• ライセンスが無効であるか、有効期限が切れています。• ライセンス認証後、コンピュータの時刻が手動で変更されました。	<p>この問題を解決するには、セキュリティデータベースに登録されていて、かつ管理権限を持っているネットワークユーザーとしてログインしてください。次に、Security Configuration ダイアログの People タブにローカル管理者を追加し、管理者権限を付与します。セキュリティデータベースにネットワークユーザーが登録されていない場合は、コンピュータ名を、Analyst MD ソフトウェアがインストールされる以前の名前に変更してください。コンピュータ名を変更するには、最初に管理者権限を持つネットワークユーザーを追加します。</p> <p>有効なソフトウェアライセンスがインストールされていることを確認します。</p>
Analyst MD ソフトウェアでプロファイルを開始しようとすると、「Failed to load parameter settings file」というエラーメッセージが表示される。	DVD からファイルまたはフォルダーを復元した場合、または装置に付属のファイルをコピーして使用した場合、これらのファイルは読み取り専用に設定されている可能性があります。	これらのファイルを使用するには、File Explorer を使用して読み取り専用設定を解除する必要があります。

ファームウェアと構成テーブルファイル B

以下の機器ファームウェアおよび構成テーブルのバージョンは、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアと一緒に使用する必要があります。このテーブルはあくまで参考用です。

これらのファイルの最新バージョンがインストールされていることを確認するには、[ファームウェアと構成テーブルを更新する](#)を参照してください。

表 B-1 : Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア用のファームウェアおよび構成テーブルファイル

システム	ファームウェアバージョン	構成テーブルファイル
SCIEX Triple Quad 3200MD システム	MIL3004	B9633002.fw
3200MD QTRAP システム	MIL3004	B9631002.fw
SCIEX Triple Quad 4500MD システム	PIL2004	FWTripleQuad4500R04.fw
QTRAP 4500MD システム	PIL2004	FWQTrap4500R02.fw
Citrine Triple Quad システム	PIL2004	FWCitrineTripleQuadR02.fw
Citrine QTRAP システム	PIL2004	FWCitrineQTrapR01.fw

周辺装置とファームウェア

C

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアは、以下の表に記載された装置をサポートしています。Analyst MD 1.7.3 ソフトウェア用の完全に認定されたファームウェアバージョンは、括弧なしで記載されています。括弧内に示されたバージョンは、十分に機能することが限定的なテストによって証明されています。

ほとんどの場合、装置メーカーからの最新ソフトウェアバージョンは、Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアとともに動作します。問題が発生した場合は、装置のファームウェアを以前のバージョン、以前から動作が確認されているバージョン、またはこの表に記載されているバージョンに変更してください。ファームウェアの検証とアップグレードについては、装置メーカーから提供されたドキュメントのドキュメントを参照してください。装置のインストールと設定の情報に関しては、『周辺装置セットアップガイド』のドキュメントを参照してください。

古いバージョンの Analyst MD ソフトウェアでサポートされている装置は、ExionLC シリーズ装置を含め、引き続きサポートされます。さらに、Analyst MD1.7.3 ソフトウェアは、Analyst Device Driver バージョン 1.3 をサポートしています。サポートされている装置のリストについては、Analyst Device Driver 1.3 のリリースノートを参照してください。

注: Agilent Infinity II シリーズのデバイスと CTC PAL 3 は Analyst Device Driver (ADD) で制御します。

表 C-1 : ExionLC 2.0 システム

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア	必要な通信ケーブル
LPG Pump	LPGP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump	BP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump+	BP-200+	1.01	Ethernet
Autosampler	AS-200	1.22	Ethernet
Autosampler+	AS-200+	1.22	Ethernet
Column Switching (バルブ駆動)	DR-200	6.20	Ethernet
Column Oven	CO-200	2.02	Ethernet
Multiwavelength Detector	MWD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector	DAD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector - HS	DADHS-200	1.24	Ethernet

周辺装置とファームウェア

表 C-1 : ExionLC 2.0 システム (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア	必要な通信ケーブル
Wash System	WS-200	1.14	Ethernet

表 C-2 : Jasper HPLC システム

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
SCIEX Dx ポンプ	5.01、(5.0)	光ファイバー
SCIEX Dx サンプラー	5.0	光ファイバー
SCIEX Dx オープン	5.0	光ファイバー
SCIEX Dx コントローラ	5.10、(5.0)	Ethernet
SCIEX Dx デガッサ	5.0	—

表 C-3 : Shimadzu CL 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
SIL-20ACXR CL オートサンプラー	(5.0)	他のすべての Shimadzu 装置には、システムコントローラに接続するために 2 ピン光ファイバーケーブルが必要です。このケーブルは Shimadzu から入手できます。
SIL-20AC CL オートサンプラー	(5.0)	—
SIL-30AC CL オートサンプラー	(5.0)	—
SIL-30ACMP CL オートサンプラー	(5.0)	—
LC-20ADXR CL ポンプ	(5.0)	—
LC-20AD CL ポンプ	(5.0)	—
LC-30AD CL ポンプ	—	—
CTO-20AC CL カラムオープン	—	—
CTO-30A CL カラムオープン	—	—
SPD-20A CL UV-VIS 検出器	—	—

表 C-3 : Shimadzu CL 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
SPD-20AV CL UV-VIS 検出器	—	—
SPD-M20A CL PDA 検出器	—	Ethernet
SPD-M30A CLPDA 検出器	—	Ethernet
CBM-20 A CL、Ethernet スイッチ付き(システムコントローラ、8 つの光ファイバーポート付き)	(2.81、1.2.1、1.30、2.30、1.06、1.05)	Ethernet
CBM-20 A Lite CL	—	Ethernet
Degasser DGU-20A3R CL、DGU-20A5R CL	—	—

表 C-4 : ExionLC AC/ExionLC AD システム

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
ExionLC 100	(0.34)	Ethernet
ExionLC Controller	5.10、3.3、(3.2)	Ethernet
ExionLC CBM-Lite	—	Ethernet
ExionLC AC Pump	5.01、(3.11)	光ファイバー
ExionLC AC Autosampler	5.00、(2.05)	光ファイバー
ExionLC AC Column Oven	5.00、(2.03)	光ファイバー
ExionLC AD Pump	(3.11)	光ファイバー
ExionLC AD Autosampler	(3.12)	光ファイバー
ExionLC AD Multiplate Sampler	(3.11)	光ファイバー
ExionLC AD Column Oven	(3.11)	光ファイバー
ExionLC PDA Detector	4.02、(3.11)	Ethernet 注: PDA 検出器には、システムコントローラと測定用コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。ExionLC PDA 検出器オペレータガイドのドキュメントを参照してください。

表 C-4 : ExionLC AC/ExionLC AD システム (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
ExionLC UV Detector	2.03、(3.11)	光ファイバー
ExionLC Degasser	—	—

表 C-5 : Agilent 1290

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
1290 Infinity 装置			
バイナリポンプ	G4220A	B.06.73 ^{1 2} (B.06.32、A.06.55、B.06.30)	WC024736 (RS-232) または Ethernet
標準オートサンプラー	G4226A	A.07.01 ^{1 2} 、(A.06.32、A.06.54、A.06.30)	WC024736 (RS-232) または Ethernet
カラムコンパートメント	G1316C	A.07.01 ^{1 2} 、(A.06.32、A.06.30)	WC024736 (RS-232) または Ethernet
DAD	G4212A	(B.06.32、B.06.30)	Ethernet

表 C-6 : Agilent 1260 K モデルおよび 1260 G モデルの装置

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
Agilent 1260 K モデル装置			
バイナリポンプ	K1312	(A.06.32)	WC024736 または Ethernet
高性能オートサンプラー	K1367	(A.06.54、A.06.32)	WC024736 または Ethernet
Agilent 1260G モデル装置			
アイソクラティックポンプ	G1310B	(A.06.32)	WC024736 または Ethernet
クォータナリポンプ	G1311B	(A.06.32)	WC024736 または Ethernet

¹ 統合デバイスとしてテスト済み

² ADD でテスト済み

表 C-6 : Agilent 1260 K モデルおよび 1260 G モデルの装置 (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
バイナリポンプ	G1312B	(A.06.32)	WC024736 または Ethernet
標準オートサンプラー	G1329B	(A.06.32、A.06.54)	WC024736 または Ethernet
高性能オートサンプラー	G1367E	A.06.54 ³ 、(A.06.32)	WC024736 または Ethernet
サーモスタット付きカラムコンパートメント (TCC)	G1316A	(A.06.32)	WC024736
ダイオードアレイ検出器 (DAD)	G4212B、G1315 C、D	(B.06.32)	Ethernet
Agilent 1260 Infinity II 装置 (Analyst Device Driver (ADD))			
バイナリポンプ	G7120A	B.07.34	CAN または Ethernet
マルチサンプラー	G7167B	D.07.34	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
カラムコンパートメント	G7116B	D.07.34	CAN

表 C-7 : CTC PAL 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
HTS PAL オートサンプラー	(4.2、4.1.x、2.4.0)	WC024736
HTC PAL オートサンプラー	(4.2、4.1.x、2.4.0)	WC024736
LC PAL オートサンプラー	(4.2、4.1.x、2.4.0、2.3.1)	WC024736
DLW (HTC-XT)	(4.2.0、4.1.x、Rev 5 サイクルファイル)	WC024736 または Ethernet

表 C-8 : Harvard 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
Harvard	(22 シリンジポンプ)	22.90

³ 統合デバイスとしてテスト済み

⁴ ADD でテスト済み

表 C-9 : Shimadzu 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
CBM-20 A、Ethernet スイッチ付き(システムコントローラ、8つの光ファイバーポート付き)	3.61 ^{5 6 7} 、5.10 ⁵ 、(2.81、1.2.1、1.30、2.30、1.06、1.05)	Ethernet
CBM-20 A Lite、Ethernet スイッチ付き(システムコントローラ、4つの光ファイバーポート付き、ポンプまたはオートサンプラーに取り付け)	—	Ethernet
CBM-40 システムコントローラ	1.50、1.30	Ethernet
CBM-40 Lite システムコントローラ	—	Ethernet
SCL-40 システムコントローラ	1.30	Ethernet
SIL-20ACXR オートサンプラー	1.25 ^{5 6 7} 、5.00 ⁵ 、(1.20、1.22、1.23、1.25)	
SIL-20AXR オートサンプラー	(1.20)	
SIL-20A オートサンプラー	—	光ファイバー
SIL-20AC オートサンプラー	(1.20)	光ファイバー
SIL-30AC オートサンプラー	—	光ファイバー
SIL-30ACMP オートサンプラー	(1.03)	光ファイバー
SIL-40 オートサンプラー	—	光ファイバー
SIL-40C オートサンプラー	—	光ファイバー
SIL-40C X3 オートサンプラー	1.05	光ファイバー
SIL-40C XR オートサンプラー	1.08、1.05	光ファイバー
LC-20AB ポンプ	—	光ファイバー
LC-20AB バイナリ溶剤供給ユニット	—	—
LC-20AD ポンプ	2.11 ^{8 9 10} 、(1.10、1.07、1.04)	光ファイバー

⁵ 統合システム Shimadzu LC Controller ではなく、統合システム Shimadzu LC-20/30 Controller を介してアクティブ化された Shimadzu LC-20 システムまたは Shimadzu LC-30 システムでテストされました。

⁶ 統合システム Shimadzu LC Controller を介してアクティブ化された Shimadzu LC-20 システムまたは Shimadzu LC-30 システムでテストされました。

⁷ 統合システム Sciex LC Controller を介してアクティブ化された Shimadzu LC-20 システムまたは Shimadzu LC-30 システムでテストされました。

⁸ 統合システム Shimadzu LC Controller ではなく、統合システム Shimadzu LC-20/30 Controller を介してアクティブ化された Shimadzu LC-20 システムまたは Shimadzu LC-30 システムでテストされました。

表 C-9 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
LC-20AD XR ポンプ	5.01 ⁸ 、(1.20、1.21、1.22)	光ファイバー
LC-20AT ポンプ	—	光ファイバー
LC-30AD ポンプ	(1.04、2.01、2.1、3.01)	光ファイバー
LC-40D ポンプ	—	光ファイバー
LC-40D XR ポンプ	1.04	光ファイバー
LC-40B XR ポンプ	—	光ファイバー
LC-40D X3 ポンプ	—	光ファイバー
LC-40B X3 ポンプ	1.04	光ファイバー
CTO-20A カラムオーブン	—	光ファイバー
CTO-20AC カラムオーブン	1.07 ^{8 9 10} 、(1.06)	光ファイバー
CTO-30A カラムオーブン	5.00 ⁸ 、(3.0、3.10、2.1)	光ファイバー
CTO-30AS カラムオーブン	(0.07)	光ファイバー
CTO-40C カラムオーブン	1.00	光ファイバー
CTO-40S カラムオーブン	1.00	光ファイバー
SPD-20A UV-VIS 検出器	—	Ethernet、光ファイバー
SPD-20AV UV-VIS 検出器	(1.03、1.11)	Ethernet、光ファイバー
SPD-40V UV-Vis 検出器	1.04	光ファイバー
SPD-M40 PDA 検出器	2.00	Ethernet 注: 検出器には、システムコントローラと測定用コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。
RF-20A XS 蛍光検出器	2.02	光ファイバー
OptionBox-L サブコントローラ	(3.2)	WC024736(RS-232 ケーブル)または Ethernet
サブコントローラ VP	(5.20)	WC024736(RS-232 ケーブル)または Ethernet
FCV-12AH バルブ	—	—

⁹ 統合システム Shimadzu LC Controller を介してアクティブ化された Shimadzu LC-20 システムまたは Shimadzu LC-30 システムでテストされました。

¹⁰ 統合システム Sciex LC Controller を介してアクティブ化された Shimadzu LC-20 システムまたは Shimadzu LC-30 システムでテストされました。

表 C-9 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
FCV-13AL バルブ	—	—
FCV-14AH バルブ	—	—
FCV-0607H3 高圧流路スイッチングバルブ(6 ポジション、7 ポート)	1.02	—
ラックチェンジャー	—	—
Rack Changer II	(2.0)	—
Nexera プレートチェンジャー	1.05	—

表 C-10 : Valco 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
2 ポジションバルブ	(1-PD-EPX88RL)	—

表 C-11 : Acquity 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
Acquity バイナリ溶剤マネージャー	(1.50.1521)	—
Acquity サンプルマネージャー	(1.50.2730)	—
Acquity カラムマネージャー	(1.50.1678)	Ethernet

Windows オペレーティングシステム設定

D

Windows の更新

重要なセキュリティパッチがインストールされていることを確認することは、コンピュータのセキュリティを維持するために不可欠です。Windows Update の設定と使用については、以下のガイドラインに従ってください。

- Windows Update のみを通知するように設定します。データ取得中にシステムに影響を与える可能性があるため、更新の自動ダウンロードおよびインストールは行わないでください。
- 通知を受け取ったら、できるだけ早く更新をダウンロードしてインストールしてください。
- 更新をインストールする際は次のことにご注意ください。
 - 取得と処理が完了するまで待ちます。
 - デバイスを非アクティブ化し、AnalystService を停止します。
- すべての更新をインストールします。更新の結果として問題が発生した場合は、SCIEEX (sciex.com/contact-us または sciex.com/request-support) にできるだけ早く報告してください。

ユーザーアカウント制御の設定

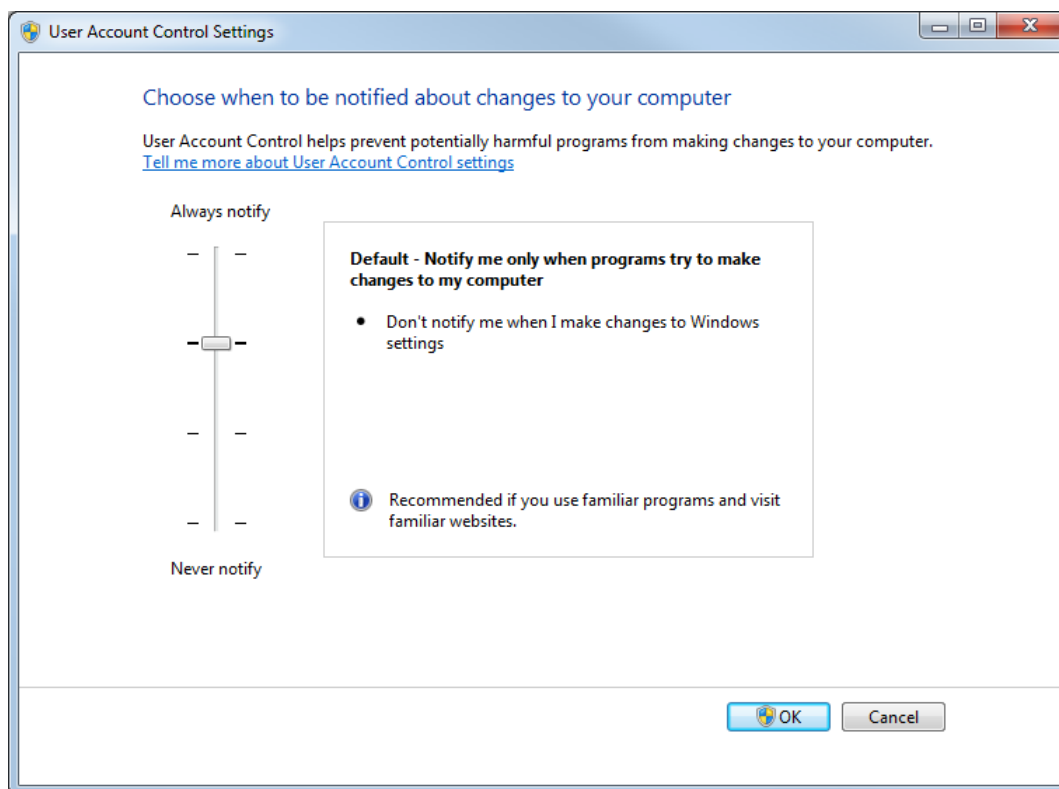
ユーザーアカウント制御の設定

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアを Windows 10 (64 ビット) にインストールする場合、ユーザーアカウント制御はデフォルト設定のまま使用することをお勧めします。管理者の場合、デフォルト設定は **Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Always notify me** です。

測定用コンピュータは、デフォルトのユーザーアカウント制御設定を用いて構成されています。

1. コントロールパネルを開きます。
2. **Security and Maintenance > Change User Account Control settings** をクリックします。
3. **User Account Control Settings** ダイアログで、スライダバーを必要なレベルに移動します。
4. 管理者の場合は、**Notify me only when programs try to make changes to my computer (default)** を選択し、**OK** をクリックします。

図 D-1 : 管理者のユーザーアカウント制御設定



5. 標準ユーザーの場合は、**Always notify me when** を選択し、**OK** をクリックします。

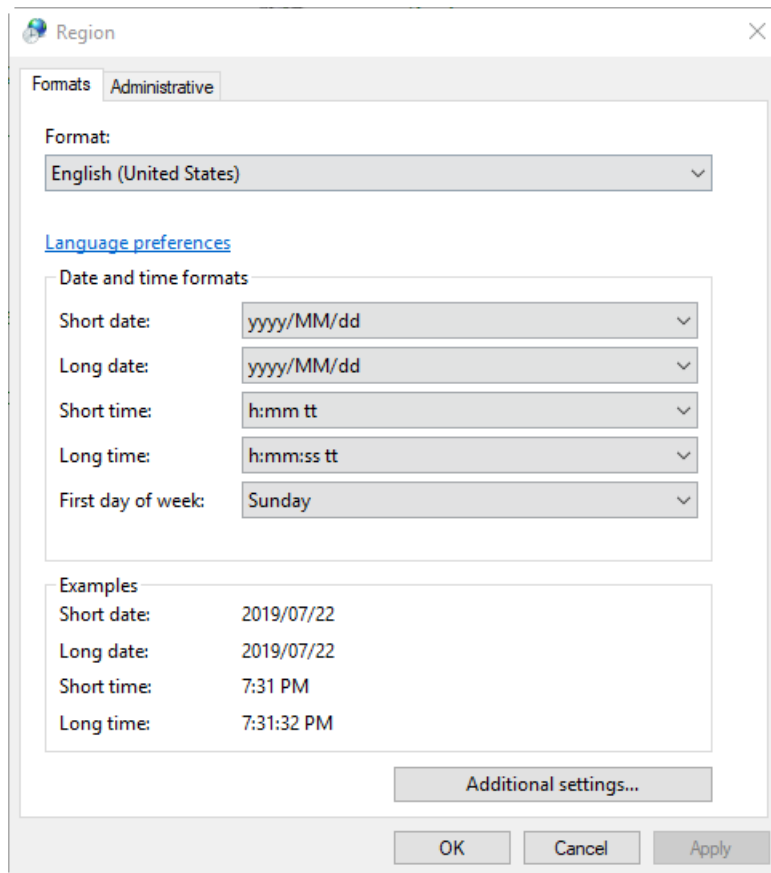
地域と言語設定

地域の設定

注: **Format** フィールドを別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. コントロールパネルを開きます。
2. **Region** をクリックします。

図 D-2 : [地域]ダイアログ



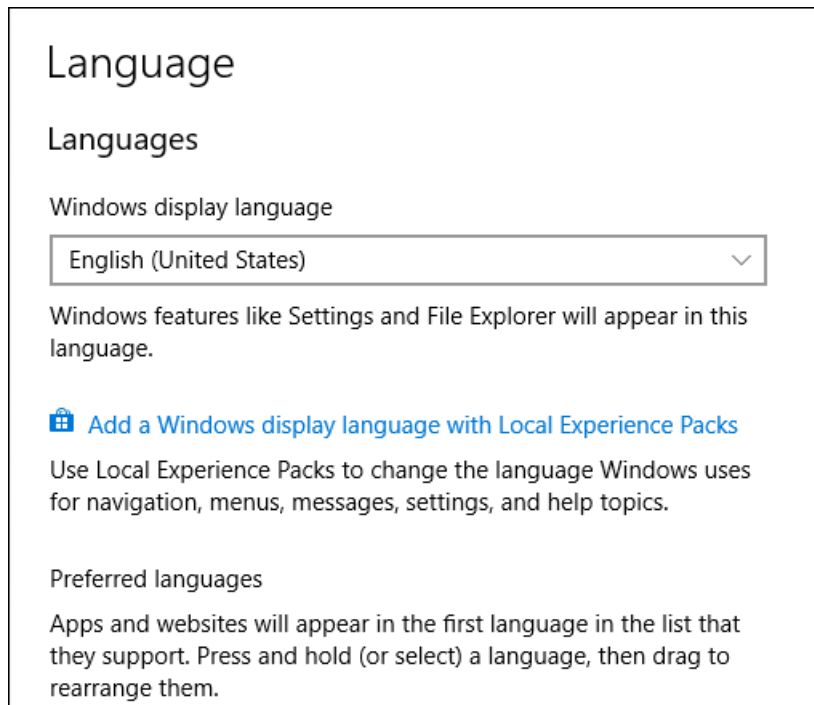
3. **Format** フィールドが英語(米国)、フランス語(フランス)、またはドイツ語(ドイツ)に設定されていることを確認してください。
4. **Apply** をクリックします。
5. **OK** をクリックします。

言語の設定

注: Windows display language を別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. コントロールパネルを開きます。
2. **Region** をクリックします。
3. **Language preferences** をクリックします。

図 D-3 : 言語ダイアログ:Windows 10 オペレーティングシステム



4. **Windows display language** には、**English (United States)**を選択します。

Analyst MD ソフトウェアドキュメント

E

Analyst MD 1.7.3 ソフトウェアと一緒にインストールされるソフトウェアガイドとチュートリアルの一覧は、以下の表を参照してください。これらのガイドとチュートリアルは、**Start > All apps > SCIEX Analyst MD > Analyst MD Documentation**。

ソフトウェアガイドとチュートリアルは、C:\Program Files (x86)\Analyst Help フォルダにインストールされます。

表 E-1 : ソフトウェアドキュメント

文書	説明
上級ユーザーガイド	Analyst MD ソフトウェアの特徴と機能について説明しています。
ラボ管理者ガイド	Analyst MD ソフトウェアのセキュリティ機能について説明しています。
スクリプトユーザーガイド	Analyst MD ソフトウェア用スクリプトのインストール手順と使い方を説明しています。
手動チューニングチュートリアル	システムを手動でチューニングする手順を説明しています。
IDA チュートリアル	IDA Method Wizard を用いて IDA 実験を作成する手順を説明しています。
Scheduled MRM チュートリアル	Scheduled MRM アルゴリズム機能の使用手順が示されています。
周辺装置のセットアップガイド	周辺装置をコンピュータ / 装置に接続する手順を説明しています。
標準定量チュートリアル	調製した標準物質を用いて定量カーブを取得するためのメソッドの作成手順を説明しています。
ExionLC 2.0 ソフトウェアユーザーガイド	ソフトウェアで ExionLC 2.0 デバイスを設定し、使用するための手順を説明しています。
Help (ヘルプ)	メソッド作成、サンプル取得、データ分析のための Analyst MD ソフトウェアの設定と使用方法を説明しています。

ハードウェアガイド

システムユーザーガイドは、いずれの質量分析装置にも付属しているドキュメント DVD に収録されています。

表 E-2 : ハードウェアガイド

文書	説明
有資格保守要員ガイド	装置のクリーニングとメンテナンスの手順について説明しています。 注: クリーニングまたはメンテナンス手順を実行できるのは、訓練を受けたオペレータに限定されています。
3200MD シリーズ装置システムユーザーガイド	SCIEX 3200MD システムについて以下の情報が記載されています: 安全情報とシステム情報、ハードウェアプロファイル、プロジェクト、装置のチューニングとキャリブレーション、基本測定メソッド、バッチ、データの分析と処理、Turbo V イオン源についての情報、ジェネリックパラメータ、キャリブレーションイオン / 溶液、システムのクリーニングとメンテナンス。
4500MD シリーズ装置システムユーザーガイド	SCIEX 4500MD システムについて以下の情報が記載されています: 安全情報とシステム情報、ハードウェアプロファイル、プロジェクト、装置のチューニングとキャリブレーション、基本測定メソッド、バッチ、データの分析と処理、Turbo V イオン源についての情報、ジェネリックパラメータ、キャリブレーションイオン / 溶液、システムのクリーニングとメンテナンス。
Citrine シリーズ装置システムユーザーガイド	Citrine システムについて以下の情報が記載されています: 安全情報とシステム情報、ハードウェアプロファイル、プロジェクト、装置のチューニングとキャリブレーション、基本測定メソッド、バッチ、データの分析と処理、IonDrive Turbo V イオン源についての情報、ジェネリックパラメータ、キャリブレーションイオン / 溶液、システムのクリーニングとメンテナンス。

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米: NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ: Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外: sciex.com/education

オンライン学習センター

- [SCIEX Now Learning Hub](#)

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守/技術専門要員を世界中に配置しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX web サイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、<https://get.adobe.com/reader> にアクセスしてください。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントのドキュメント DVD を参照してください。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。
